

平成29年度 上田市立菅平小・中学校 学校関係者評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿	今年度の重点目標
郷土を拓く大地の教育	①自分の良さに気づき、友だちの良さを認め合える子ども ②他者への感謝の気持ちを持ち続ける子ども ③自ら考え、判断し、行動できる子ども ④伝え合いを通して考えを深める子ども ⑤体験を通して心身を鍛える子ども ⑥郷土に誇りをもち、郷土を愛する子ども	(1) 互いの良さを認め合い、前向きに取り組む学級づくり。 (2) 自ら進んで学習する子どもの育成をめざす。 (3) 菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる。

領域	対象	【 評価項目 】 及び [ 評価の観点 ]	評価	ご意見
教育活動	生徒指導	【互いに認め合う人間関係】 子どもたちは、相手の良さに気づき、発信している。	A	なぜあいさつをするのか、あいさつの大切さや良さを、子どもたちに体験を通して学ばせることが必要ではないか。そうすることで、さらにあいさつの状況が向上すると思う。 クラスの児童・生徒の数が少ないので難しい面もあるが、活動を工夫して、できる限り人間関係を広げていけるとよい。
		【相手意識のある挨拶】 子どもたちは、いつでもどこでもだれにでも、さわやかなあいさつができています。	B	
	学習活動	【学習習慣の形成】 授業中、子どもたちは、学習のルールを守り、集中して取り組んでいる。	A	学校アンケートからは、先生たちが、熱心に指導してくれていることが分かる。 中学校での庭学習については、学習内容や取り組んだ時間などについても教師が生徒にアドバイスし、学習の効果を上げてけるとよい。 個に応じた指導を大切にしており、たいへんありがたい。
		【授業改善】 子どもたちにとって、分かる楽しい授業になっている。	A	
		【家庭学習の充実】 家庭学習が習慣化し、学習内容の理解と定着に結びついている。	B	
	キャリア教育	【地域への愛着】 子どもたちは、菅平での生活に喜びを感じている。	A	子どもたちのアンケート結果を見ると、地域への愛着が高い一方で、「地域を知る」ことへの評価が低い子がいる。子どもたちの地域をもっと知りたいという気持ちの表れなのか、あるいは、そういう機会が少ないのか気になる。菅平ならではの良さを、子どもたちが実感できる機会を大切にしたい。
		【地域を知る】 子どもたちは、菅平の自然や産業を理解している。	B	
	その他	【楽しい学校生活】 子どもたちは、毎日楽しく学校へ通っている。	A	多くの児童生徒が、「学校が楽しい」と感じて、生活できていることが素晴らしい。
	学校運営	学校作り	【情報の発信】 学校は、学校・学級通信等で、学校や子どもたちの様子を適切に保護者や地域に伝えている。	A
【保護者との連携】 学校は、保護者の願いや要望に耳を傾け、前向きに応えている。			A	
【地域との連携】 学校と地域が協働して、教育活動をつくりあげることができている。			A	

総合的評価

- ・子どもたち一人一人を大切にしている。どの子にとっても楽しい学校づくりをこれからも進めていってほしい。
- ・日々の学校生活の中で、子どもたちの素晴らしい感性が育っている。
- ・保護者の意見や要望に耳を傾け、また、地域ともたいへんよく協力しながら、教育活動を行うことができています。今後も、保護者の願いに寄り添い、「地域に開かれた学校」を目指した学校運営をしてほしい。
- ・子どもたちが菅平のことをもっとよく知り、菅平ならではの良さを実感し、郷土に対する愛着を高めることができれば更に良い。